

Ⅲ. 事業の成果

1. モデル・コア・カリキュラムの基本的な考え方

(1) 基本理念

スポーツは、社会の中で行われる活動であり、社会の規範を守り、社会における価値を踏まえ
たうえで、スポーツの価値そのものを高めていかなければならない。

スポーツ基本法においては「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の
権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環
境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、支える活動に参画できる機会が確保されなければ
ならない」とされている。

また、平成 25 年度に文部科学省が設置した「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者
会議(タスクフォース)」の報告書において、新しい時代にふさわしいコーチングとは「競技者やス
ポーツそのものの未来に責任を負う社会的な活動」とであると定義している。

このような考え方からすると、スポーツ指導者(コーチ)が果たす役割は、単に指導対象者のパ
フォーマンス向上や健康・体力の維持増進を支えるだけにとどまらず、スポーツを通じた総合的な
人間力の向上(人格形成)、さらにはスポーツの意義と価値を守り育て未来へ継承していくという
広範囲にわたることが理解できよう。

したがって、スポーツ指導者(コーチ)は、スポーツ科学やスポーツ医・科学の知識・技能を身に
つけていることはもちろん、それ以前にスポーツの意義と価値を理解した上で、スポーツとは何か、
何のためにスポーツ指導をしているのかを常に自分自身に問いかけ、成長し続けなければならな
いのである。

「グッドコーチに求められる資質能力」とは、思考・判断、態度・行動、知識・技能により形成され
るもので、プレーヤーやスポーツの未来に責任を負う上で幹となる思考・判断を中心に、実際のコ
ーチングを適切な方法で表現し良好な関係を築くための態度・行動、あらゆるスポーツコーチング
の場面で必要となる知識・技能(共通)と個々のコーチング現場別(競技別、年代別、レベル別、
障害の有無など)において必要となる知識・技能(専門)という同心円状の図で表すことができる。

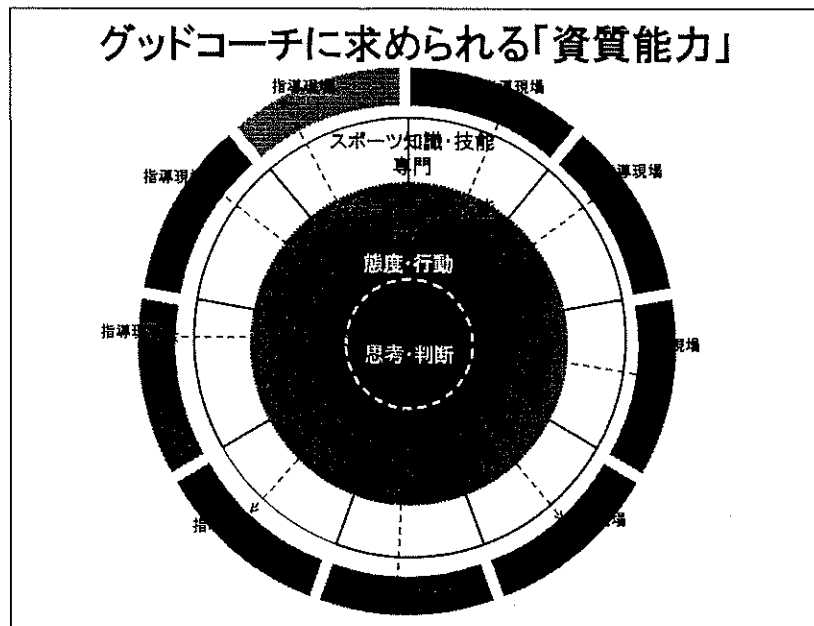
グッドコーチに求められる資質能力 (思考・態度・行動・知識・技能)

思考・判断: 自分自身のコーチングを形づくる中心にあるもの

態度・行動: プレーヤーや社会との良好な関係を築くために必要な資質能力

スポーツ知識・技能: スポーツ指導を行ううえで必要となるスポーツ科学の知識・技能

人間力	思考・判断		スポーツの意義と価値の理解、コーチングの理念・哲学(人が好き、ス ポーツが好き、スポーツの意義と価値の理解、プレーヤーやスポーツの 未来に責任を持つ、社会規範、スポーツの高潔性)
	対自分力	対他者力 (人、社会)	学び続ける姿勢(自己研鑽)、前向きな思考・行動、くじけない心、課題 発見力、課題解決力、自己統制、内省、社会規範
知識・技能	共通		あらゆるコーチング現場に共通するスポーツ科学
	スポーツ 知識・技能	専門	個々のコーチング現場別(競技別、年代別、レベル別、障がいの有無 など)に求められる専門知識・技能



「コーチ育成のためのモデル・コア・カリキュラム」は、グッドコーチに求められる資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)とその資質能力を習得するために学ぶべき内容のキーワードを資質能力区分と領域ごとに分類し、教育目標ガイドライン(講義の概要(ねらい、目的)、到達目標、キーワード、講義の進め方)として提示したものである。

(2) 位置づけ

「コーチ育成のためのモデル・コア・カリキュラム」とは、多様化・高度化・専門化する体育スポーツにおいて、体育系大学等の学生が卒業後にコーチとして現場に立つことを見据え、コーチに求められる資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)を確実に習得するために学ぶべき内容を『教育目標ガイドライン(講義概要(目的やねらい)・到達目標・時間数)』として提示するもので、体育系大学等におけるカリキュラム作成の参考となるものとして位置づけた。

したがって、各大学等における授業科目名や履修順序を指定するものではない。また、各学校が既に定めている授業科目の読み替えや内容の修正、新たな科目として導入する方法などが想定されるが、導入方法については、各学校に委ねることとする。

(3) グッドプレーヤー像、グッドコーチ像

「コーチ育成のためのモデル・コア・カリキュラム」はグッドコーチに求められる資質能力を身につけるために学ぶべき内容としてまとめている。その取りまとめの過程においては、今後日本スポーツ界が育成すべきグッドプレーヤーとはどのような人物像なのか、そして、そのグッドプレーヤーの育成を担うグッドコーチ像とはどのような人物像なのかを検討し明らかにした。

グッドコーチ育成にあたり、グッドプレーヤー像、グッドコーチ像に関しても一定の共通認識を持つ必要がある。

【グッドプレーヤー像】 日本スポーツ界が育成すべき人物像

グッドプレーヤー像

人物像	キーワード
スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重できる人	スポーツが好き、スポーツと意義と価値の理解
フェアプレーを誇りとし、自らの心に恥じない態度をとり行動ができる人	フェアプレー
何事に対しても、自ら考え、工夫し、行動できる人	自立、課題解決(創意工夫、実践力)
いかなる状況においても、前向きかつ直向きに取り組むことができる人	逆境・困難に打ち克つ力、ポジティブシンキング、真摯さ、継続性
社会の一員であることを自覚し、模範となる態度・行動が取れる人	社会の中の自己認識、社会規範・モラルの理解・遵守
優しさと思いやりを持ち、差別や偏見を持たない人	同情・共感、公平・公正さ
自分を支えるすべての人々(保護者、コーチ、仲間、審判、対戦相手など)を尊重し、感謝・信頼できる人	相互尊敬(リスペクト)、感謝・信頼
仲間を信じ、励ましあい、高めあうために協力・協働・協調できる人	チームプレー、協力・協働・協調

【グッドコーチ像】 グッドプレーヤーを育成する担い手

グッドコーチ像

人物像	キーワード
スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる人	人が好き、スポーツが好き、スポーツと意義と価値の理解
グッドプレーヤーを育成することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることができる人	プレーヤーやスポーツの未来に責任を持つ
プレーヤーの自立やパフォーマンスの向上を支援するために、常に自身を振り返りながら学び続けることができる人	課題解決、自立支援、プレーヤーのニーズ充足、卓越した専門知識(スポーツ教養含)、内省、継続した自己研鑽
いかなる状況においても、前向きかつ直向きに取り組みながら、プレーヤーと共に成長することができる人	逆境・困難に打ち克つ力、ポジティブシンキング、真摯さ、継続性、同情・共感、対象に合わせたコーチング
プレーヤーの生涯を通じた人間的成長を長期的視点で支援することができる人	プレーヤーズファースト、プレーヤーのキャリア形成・人間的成長、中長期的視点、
いかなる暴力やハラスメントも行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる人	暴力根絶、相互尊敬(リスペクト)、公平・公正さ
プレーヤーが、社会の一員であることを自覚し、模範となる態度・行動をとれるよう導くことができる人	社会の中の自己認識、社会規範・モラルの理解・遵守、暴力根絶意識のプレーヤーへの伝達
プレーヤーやプレーヤーを支援する関係者(アントラージュ)が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・協働・協調できる環境をつくること ができる人	社会との関係・環境構築、チームプレー、感謝・信頼、協力・協働・協調